

令和7年3月15日

保護者の皆様
地域の皆様

さくらの学び舎 世田谷区立笹原小学校
校長 吉田 健二

前年度の改善方策について実行した改善結果報告

令和6年度期初に掲げた学校改善方策(重点目標)について、以下のような取組、結果となりました。

重点目標1

「主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成」

- 児童アンケート「私には努力できることがある」(肯定率 86.4%)、「私は、よく考えて判断し、行動することができる」(肯定率 82.1%)、「私は、自分の気持ちを友達や先生に伝えることができる」(肯定率 75%)となった。保護者アンケート「子どもたちは、努力できることがある」(肯定率 85.6%)、「子どもたちは、よく考えて判断し、行動することができる」(肯定率 60.1%)、「子どもたちは、自分の気持ちを友達や先生に伝えることができる」(肯定率 58.8%)となった。重点目標1に関する項目では、児童、保護者ともに肯定的回答率は昨年より上昇した。
- 授業ねらいを明確にし、「めあて」と「ふりかえり」を大切にした学習指導により、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んだ。また、学習用タブレット端末を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実につながる授業づくりに取り組むことができた。校内研究では、特別活動(学級活動)の「話合い」に重点をあてて実践研究を行った。この実践が、対話的・協働的な学びができる子どもの育成に繋がっている。

重点目標2

「多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成」

- 児童アンケート「私は、自分のよさや友達のよさを見付けることができる」(肯定率 85.7%)、保護者アンケート「本校には、多様性を認め合う雰囲気がある」(肯定率 55.8%)となった。重点目標2に関する項目では、児童、保護者ともに肯定的な回答率が前年より上昇した。
- 毎月1週間の「あいさつ週間」を設定し、担当学年を割り振り、あいさつ標語の作成や「あいさつキッズ」としての挨拶活動に取り組んだ。心を通わせるあいさつ、気持ちのよいあいさつをすることを全校で心がけ、あいさつの日常化を進めた。「『ふわふわ言葉』を大切にしよう」の取組を行い、美しい言葉、相手を思いやる言葉を通して、「思いやりのある子ども」の育成を行った。

重点目標3

「自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成」

- 児童アンケート「私は、うがい・手洗いなど健康に気を付けている」(肯定率 85.0%)、保護者アンケート「本校の子どもたちは、感染症の予防等健康に気を付けている」(肯定率 47.7%)となった。児童の肯定的回答率に前年度比上昇がみられた一方で、保護者の肯定的回答率は低下した。
- 年間を通して「元気タイム(月1回)」を設定し、学年や学級の子どもたちが一斉に運動を楽しんだ。また、長縄跳び週間、短縄跳び週間、持久走週間を設け、運動への意欲向上と日常化を図った。主に学級指導や保健指導を通して、感染症や病気の予防とけがの防止について指導を行った。特に、夏季の熱中症予防と冬季の感染症予防について、指導の重点化を図った。令和6年度は学級閉鎖を行ったクラスが0であり、成果に繋がった。